

★本年もどうぞよろしく

世の中不景気な話ばかりが先行した今日この頃ですが、新しい年を迎えてさあ、如何なる年になりますか。OMCの活動も不景気風を吹きとばす位の熱気に包まれた飛躍の年にしたいものですが、初夢に終るでしょうか。

12月レポートに記載された例会記録を見ると、数字的にはやや下降気味ですが、8ミリの現状からいえばよく頑張っている方ではないかと思えます。村田、細見、江村さんあたりの変わらぬ活躍がOMCの活動を支え、盛り上げていただいているものと感謝する次第ですが、一方では、古くからのOMC会員の作品制作意欲を今一度かき立てる必要があるのではないかと反省しているところです。

ビデオはビデオなりの良さがあり、楽しみ方もあるのですが、公開映写会を一つの大きなイベントと位置づけているOMCはやはりフィルム作品で勝負しなければなりません。大映写の映写効果はやはりフィルム映像に軍配が上がります。会員諸氏が1年1作でも自分なりの自信作を作っていただければ、公開映写会のレベルも維持向上できると思えます。

「少なくとも1年1作自信作」を合言葉に今年1年頑張ってみませんか。まあ、それはともかく、本年もどうぞよろしく願います。

★12月例会レポート

年の暮れの師走例会で集まりが心配されたが15名の出席と6本の作品が集まり、まずまずの例会となった。堀池、横山両相談役のお元気な姿も見え、会の雰囲気もなごんだ。

このところマグネの作品が増え、テープ作

品が減ったが、今どきテープもやっているところはあまりないだろうと小倉会長。もっともこれがあるからOMCに入っている、という人もいるからこの先も両刀遣いになるだろうが、テレコが故障しないよう祈りたい。

上映作品；「雪景色」金子氏、Su M 5分。嵯峨野、嵐山、余呉湖など各地で撮られて1本にまとめられた。リズム感をどう盛り込むのか課題。「どやどや」村田氏、Si M 8分 来年1月14日の天王寺のどやどや祭で撮り足したいのでアドバイスを、と作者。しかし、よく出来ていて迫力があつた。細かいところでいろいろと助言が出された。「コスモスの里」細見氏、Si M 5分50秒。能勢の奥地にコスモスが一杯咲いているところがあつた。休耕田の観光農園化らしい。構成について人物は入れない方がよいなど意見が出された。1絞り絞って逆光をうまく活かされた手法などよく撮られている。「忘却」関氏、Su T 12分20秒。凡そ10年ほど前の「地下街」発表作品。心象がかった内容で難解だが、テクニクは抜群。当時、関西で心象映画が多く作られていたことをふと思い出し懐かしかった。

「手づくりの祭」合原氏、Si M 12分20秒。1979年フジコン入賞作品。村祭りに子供みこしを作る村人たちの様子や、子供らがみこしをかつぐ楽しげな顔など。「沖縄紀行」増田氏、Su T 20分。沖縄返還以前の旅の記録。CFC全国撮影会と後で撮り足したフィルムを混ぜて構成、当時を偲ぶ記録。

☆1月例会は23日第4土曜18時20分。なにわ会館。新作旧作持参歓迎。多数のご出席乞。

★“やらせ問題”に思う

この間のNHKやらせ問題ではマスコミが騒いだが、わか映像趣味人間にとって、ドキュメンタリー映画は一切“やらせ”はダメだとなれば、作品としては恐らく面白さも感動も少ない平凡なものになってしまうだろうと思うとき、公共放送のドキュメント担当者の苦勞がしのばれてくる。彼らにとってどこまでの“やらせ”が許されるのか等マスコミや一般人の論議が激しく行われている。

川畑健二前会長は、ドキュメンタリー映画づくりの名人であった。恐らく川畑さんの作品のうちどこまでが事実で、どこからがフィクションなのか、本当のところは作者しか判らないだろう。観客は作品としての出来ばえに感動し満足する。そこには“やらせ云々”は話題になっても避難する人はいない。

マスコミにおけるドキュメント担当者にご同情申し上げると共に、趣味人としての自由さを改めて感じ入る次第である。

★1月レポート

出席：小倉、有村、合原、増田、森、細見村田、金子、花岡、江村（以上10名）

さすがに1月例会の季節は寒い。会場の外は北風がやけにつめたい日であった。そのせいばかりでもないだろうか会員諸氏の集まりも悪く、定刻を過ぎて来べき人も来ない状態なので開会を見合わせていたが、ポチポチやりましょうかと有村司会役の声で開会。40名の会場からみても20名程度の集まりは欲しいところ。2月例会は乞多数のご参集！

冒頭、会長より新年会の会計報告があり、

残金12,604円は一般会計に繰り入れたいとの提案に一同拍手で衆議一決。

上映作品；「長岳寺」村田氏、Si M 6分30秒。奈良山野辺の道の一つとして撮影、しつとりとした情感はあるが、作品の狙いをもっと絞るべきではないか、喜多郎のBGMはきつすぎるのでは、等の意見が出された。「紅葉狩り」金子氏、Su M 8分15秒。上映が始まって音が出ないトラブル発生。別の作品でも声が出ないので映写機の故障と判ったが、いじっているうちに直った。綺麗なカットが印象的だが、このタイトルだと人間主体となるので、題名変更の提案も出された。「落葉のころ」細見氏、Si M 6分。細見作品らしくきれいな画面だ。京都三年坂の石段あたりが中心だが、BGMのテンポの良さと画とがマッチしていないのでは、という指摘も。「小春日」江村氏、Si M 4分50秒。小春日の解釈をめぐって、けんけんがくがく。下町ムードはよく出ていたが、寒い季節の暖かい日という季節感をもっと欲しいとの声が多かった。

「とんど祭」合原氏、Si M 15分。豊中市上新田に伝わる伝統行事の記録。「新緑の西沢溪谷」合原氏、Su M 15分。昨年5月撮影の新作発表。山梨県の西沢溪谷は景勝の地として有名。ビデオと8ミリと両方撮ったので忙しかったと作者。

★合同映写会開催日決まる

合同映写会準備会を2月13日開催。公開映写会を10月22日（金）に開催することを決定

☆2月例会は27日第4土曜18時20分。なにわ会館。二次会も楽しい例会に多数のご出席乞

★東京の8ミリ仲間に感謝

—合原一夫氏の東京だより(完)—

私は単身赴任で東京へ出て早や4年半になろうとしている。それもこの3月末で終わりを告げる。この間、8ミリ映画という媒介を通じて知り合った東京の映像仲間との交流のおかげで、単身赴任の淋しさ、わびしさもなく充実した日々を送れたのは幸いであった。仕事上のつき合いと違って趣味としての交流は本当に楽しく、仕事のストレスも忘れさせてくれる。喫茶店に入っても呑み屋へ行ってもよくも話題が尽きないものだと思う位、つい時間のたつのも忘れて話し込んでしまう。今はビデオの話が多くなったので、ビデオの耳学問も大きくふくらんだ。作品についての二次会での批評は大いに役に立つし、反省にもなる。東西とも過去に、作品を批評されて怒り出す人も居たが、結局そういう人は自然に離れていってしまい、今まだ8ミリやっている人には、そういう人は居ない。また、東京映像の小林さんのように、ご自分では作品づくりはやらす、クラブの為にニュースの発行やら事務など裏方に徹して長年クラブ運営に貢献している方もおられる一方、同じく東京映像の川上会長や山岳映画サロンの伊藤代表のように、率先して作品づくりを目ざし、クラブをリードしている方もおられる。また他の会員さん達も奉仕の気持ちでクラブを盛り立てておられる。いい人ばかりでこれから毎月の例会へ出席出来なくなるかと思うと淋しいが、年に何回かは上京して交流を続けたいと思っている。8ミリ仲間に感謝!

★2月例会レポート

今月は小倉会長が病院での検査入院のためお休み。合原広報担当者は所用で帰阪されていないため、細見氏が記録を担当された。

出席者：有村、森、増田、前田、金子、村田、辻村、関、岡本、岩井、細見(敬称略)

今冬は暖かいやら寒いやら判らぬ位、気温の変動が大きい。暖かい日が続いたと思ったら例会日はぐっと冷え込みみぞれ混じりのあいにくの天候。例会出席者の出足も悪く「今日は座談会やなあ」の声も出たが7時頃になってようやく11名を数え、作品も5本そろったところで開会宣言。

上映作品；「淀川点描」金子氏、Su M 5分30秒。淀川上流より三十石船、よし原、よし刈りと逆光撮影の連続。順光があつて逆光の良さが出るのでは、と意見あり。しかし綺麗なカットではあつた。「東寺弘法市」村田氏 Si M 6分40秒。人込みの中で中々よく撮られた作品。構成もよい。ナレがあつたら第三者にもよく判つたのでは。「しぐれ雪」細見氏 Si M 4分。情緒的な作品である。朝起きたら一面の銀世界、急ぎ車で服部緑地の民家聚落へ、雪しぐれの場面が撮れたが、欲を言えば困伊裏の焚き火を囲んだ人の生活場面転換に一工夫ほしかつた。「古都立春」辻村氏、Su T 6分。見事な作品である。この美しい世界はフィルム映像ならではである。「淡雪の祇王寺」村田氏、Si M 4分40秒。美しい作品である。が、色物が欲しいとの声も…。

☆3月例会は第4土曜27日、18時20分なにお会館。春本番来たる。楽しい例会へ集ろう!

★上総氏、個人映写会を企画

OMC会員で相談役の上総修一郎氏は今年古希(70才)を迎えられることから、映画づくり40年のひと区切りという意味で、個人映写会を企画されている。同じやるなら8ミリ公開映写会の殿堂、朝日生命ホールでやりたい、と70才にして益々意気盛んなところを見せられている。期日は今年11月14日(日曜)午後2時より、ということで、女性層の動員もねらって休日の昼間を予定された。OMCとしても大いに後援したいと思っているのでその節は会員の皆さんよろしく願います。

★合同公開映写会作品募集締切りは8月末日

今年から関西シネクラブとの合同公開映写会となることは既報の通りであるが、10月22日(第4金曜)の発表会へ向け、いよいよ準備が始まった。募集締切り日は8月末日、上映作品の決定は9月12日(日)で、直ちにプログラム作成に着手される。関西では勿論、全国的にも8ミリフィルム映像だけの公開映写会は数少ない存在であり、この伝統ある灯を消さないためにも、いい作品を多く集めたものである。まだ時間があるので会員諸氏の創作意欲に期待したい。

★3月例会レポート

例会日の第4土曜27日は、丁度、春の選抜高校野球が始まった日であった。甲子園での高校野球は、ふるさとを思い出す、という人が多い。このときばかりは故郷から出てきた球児たちに応援し、点の入る毎に一喜一憂しながら幼い頃の思い出を想いだすのであろう
今年も春本番、桜の開花も本格化した。

出席：有村、今井、江村、小倉、上総、金子合原、関、辻村、細見、増田、前田、村田、森(以上14名、敬称略)

上映作品；「早春の香り」金子氏、Si M 2分50秒。伊丹の緑ヶ丘公園の梅と野点、きれいに着飾った女性たちがムードをかきたてている。気になるのはカットの長さが揃いすぎていること、アップは2～3秒、中景は5～6秒、ロングは長く、といった原則を守ればリズム感が出ると司会の有村氏より助言あり。

「江坂は今」村田氏、Si M 8分50秒。努力作だが、構成に難。今でも駅前あたりのビルの谷間に田や畠が残されている。昔はハス池の多かったこの地も、こんなに変わった、というテーマは判るので再挑戦されては？。「炎に舞う」細見氏、Si M 6分25秒。京都伏見稲荷の『お火焚き祭』の記録。たんねんに撮られているが、炎に舞う、という印象が薄いので、タイトルとの違和感があるのが惜しい。

「私の土佐日記・第1部」合原氏、Su M 12分10秒。上映を始めたが音が出ない！。一瞬ひやとしたが、いろいろいじっているうちに直った。古い機械なので故障が恐い。作品は昨秋公開映写会した第2部・四万十川、くろしお篇の前篇、CFCサロン全国撮影会作品。「残景」江村氏、Si M 6分40秒。四国赤岡町の祭りで見たい絵に作者は幼い頃の郷愁を感じた…。話題提供作品。「大自然アラスカ」小倉氏、Su T 13分。「たんぼの詩」辻村氏、Su T 9分。両作品とも往年の名作。

★4月例会は第4土曜24日18時20分。なにわ会館。二次会も楽しい月1の例会へ集まろう

H5
OMC '93 年度撮影会実施について

標題の通り、今年度の撮影会を下記の要領で実施します。一人でも多くのご参加を期待します。

記

- 期 日 5月23日(日)
集 合 地 別途連絡
撮 影 対 象 堺の包丁 素材から製品にいたるまでを、鍛造職人と関係者に実演していただきます。
参 加 費 2,000円 出演者の謝礼、入賞者のトロフィー代等にあてます。
申 込 み 4月例会場(24日)で申込み受付をけします。
例会欠席の方などは、5月10日迄に事務局(06-357-7281)又は企画の関氏(06-304-0255)へ電話で申込みをしてください。

堺には、古から伝統産業として引き継がれてきたものがたくさんあります。線香、刃物ゆかた、昆布、敷物、自転車などがその代表的なものです。今回の撮影会は、この中の「堺の包丁」をとりあげます。基本的には「できるまで映画」の範疇に入ります。

包丁づくりの工程は、すべて分業になっていますが、主な撮影対象になるのは柳之町にある田中義一さんの、素材から鍛造を経て形成までの工程を受け持つ工場です。工場といっても10坪ほどの敷地内に、火造り用の炉と鍛打機、切断機がそれぞれ2基ずつほど据えられた、まあ家内工業といったところ。そこで、田中さんがたった一人で「鍛造」の仕事に汗を流すシーンを撮影していただきます。「研ぎ」と「柄つけ」作業は、それぞれ別の場所へ移動して取材します。

撮影会当日、皆さんをご案内する所は以上の3か所です。このあと、映画としての肉づけ・枝葉づけは、作者の技量におまかせします。

堺の町には、チンチン電車が走り、新旧の珍しい風物も至る所に点在しています。古い町並みと現在の環境を対比させるのも一つの方法かと思いますが、「できるまで」にこだわらず「自分の映像」で仕上げてください。

注：集合場所と集合時間および駐車場は現在検討中です。

後日参加者に直接お知らせします。

今回の企画に際し、会員の上総さんにたいへんご協力をいただきました。あつくお礼を申し上げます。(企画：関)

OMC News

発行 大阪ムービーサークル事務局 小倉宝蔵

〒531 大阪市北区長柄東2-1.21-204

TEL (06) 357-7281

1993. 5 No. 329

★撮影会の難しさをご苦労

今年も撮影会シーズンが始まった。すがすがしい新緑の季節は、カメラかっいで撮影に行くのに実に気持ちのいい季節だ。一方、クラブの企画担当にしてみれば、毎年ある撮影会を、どこにしようか、何を撮ろうかと、毎回頭を痛めることになる。たいていのところは撮り尽くされていて、新しい被写体となる場所を探すのは容易ではない。出来るまで映画の場合、休日はお休みのところがほとんどで、よほど有力なコネがないと撮影の対象になりえない。また、休日は観光地ほど人が多いのも悩みの種。タレントでも使おうものなら、やじ馬の整理にひと汗かくことになる。また会員の好みやレベルの違い、ビデオ派とムービー派との混在、室内撮影の場合、シングル8派とスーパー8派で照明の問題に頭を痛めることもある。また、シナリオを作ってくれないと何を撮ったらいいのか判らないとばやく人、ナレーションテープが欲しい…等々。企画担当者は頭の痛いことばかりである。そこで普段から会員さんからの耳寄りな情報が貴重になってくる。みんなで撮影会のネタ探しに協力しあおうではないか。そして多くの会員さんが集い、楽しいひとときを過ごすではないか。(合原)

★4月例会レポート

造幣局の桜の通り抜けが始まった4月例会日、いい季節となったものだ。開会時間が来ても13名の出席と5本の作品だけという淋しさだったが、7時頃になってようやく15名を数えて何時もの賑やかさを取り戻した。花岡

さんの奥さんが足を骨折されて病院通いという知らせや、上総氏より堀池さんの近況が話されたが、早く元気を取り戻されて例会に笑顔を見せてほしいものである。

出席者：有村、今井、岩井、江村、岡本、小倉、上総、金子、合原、関、細見、横山、村田、森、増田の各氏(以上15名)

上映：「おいらん道中」金子氏、Si M 3分25秒。京都鷹ヶ峰、光悦寺から常照寺までのおいらん道中を狙われたが雨で思うように撮れなかったと残念がる作者。珍しいので京の行事の一つとしてまとめたらの助言あり。

「チューリップの季節」村田氏、Si M 5分。少し時季を逸せられて花の盛りを過ぎていたのが惜しい。こういうタイトルにハワイアン音楽は合わないのではとの指摘があった。

「大原の女」細見氏、Si M 11分40秒。シングル8大阪友の会で故川畑会長が演出されたもの(フジで特選作)。川畑さんの面目躍如たるものがある作品であった。「風薫る西の京」江村氏、Si M 14分。これもシングル8大阪友の会撮影会の作品。唐招提寺のうちわまきがクライマックスで、撮影会としては、よく人混みの中を撮られた。現録が欲しかった作品。それにしても江村さんのはよく話題になる。「タビ・カメラ・ニホンジン」小倉氏、Su T 9分30秒。かつての関小連公開映写会作品。歯切れのいいカットは見事。

▷関氏より堺での撮影会(5月23日)について詳細な説明があった。乞う、ご期待。

☆5月例会は第4土曜22日、18時20分なにかわ会館。会費未納の方よろしく。例会へ集合!

★マグネコーティング中止騒ぎに思う

OMC 5月例会の日、フジがマグネコーティングを5月26日で中止するという話題が出された。これまでコダックのサイレントフィルムもフジがやってくれていたのが安心してコダックのフィルムも使っていたが（コダックはマグネコーティングを既に中止）、これからはうっかり使えなくなるとの思いが頭によぎった。一方、シングルも家族や旅行など未編集サイレントフィルムも数多く保有している私にとって、マグネ化中止は痛い。早速未編集フィルムを長巻きしてカメラ屋に持ち込んだら、20日で受付中止とか。がっかりして再び長巻きしたフィルムを元のリールへ分割して仕舞い込むというむなしさ。

ところが、懇意のカメラ屋さんから電話があって10月まで受付延長するとフジから連絡があったと知らせてくれた。ほっとひと息とあったところだが、将来の8ミリのことを考えると暗い気持ちに変わりない。サイレントカメラしか持っていない私にとっては同録フィルムはあるゾといわれても縁の無い話。パルスでテープ同調があるといわれても、パルスは故障して使えないし、今どきテープ同調が通用するのは大阪のOMCぐらいしかないではないか。今後8ミリを続けるとすればシングルのアフレコフィルムしかない。厳しい時代になったものよと愛機キャノン1014カメラのボディを拭きながら、ついビデオカメラの方へ目がチラチラと向いてしまうのだ。

時代の流れと言ってしまうとそれまでだが何か企業の論理に振り回されているようで積

然としないのは私だけだろうか。（合原）

★5月レポート

梅雨が始まったのかと思われる程のしとしと雨の日。そのせいか例会の集まりも悪く、いつもの賑やかさに欠けていた。常連の細見上総、前田氏らの顔が見えないのも淋しい。出席；有村、江村、小倉、岡本、岩井、金子合原、花岡、関、辻村、増田、森、村田（以上13名、敬称略）。

上映；「くらべ馬神事」金子氏、Si M 8分半 京都上賀茂神社の神事を撮られたが、くらべ馬の由来とか何をしているのか解説がないので判りにくい。作者自身も判らないとか。ほかの京都の画面と合わせてまとめる手もありそうだ。「水鳥の楽園」村田氏、Si M 6分半 毘陽池で撮られた水鳥だが、いろいろな人が撮っているので、ひと工夫ほしい。「京のあけぼの」合原氏、Si M 15分。京の文明開化の頃に焦点を合わせ、一本筋を通した作品にする手法は参考になろう。「花らんまん」江村氏、Si M 7分。江村作品は話題が多い。いろいろな意見が出たがそれだけ印象深いということか。「佐原あやめ紀行」合原氏、Si M 7分 水郷佐原のあやめをしっかりとした感情で描く。近畿にもこんなところが欲しいとの声も「あべにゆう長浜」関氏、Su T 11分。1200名の着物集団に圧倒された。「屋久島紀行」増田氏、Su T 16分。S45.61年の2回行って一本にまとめた努力作。印象に残る作品だ。

★撮影会作品公開審査は7月例会。よろしく

☆6月例会は第4土曜26日18時20分。なにわ会館。新作旧作持参歓迎。多数のご出席を。

OMC News

発行 大阪ムービーサークル事務局 小倉宝蔵

〒531 大阪市北区長柄東2-1.21-204

TEL (06) 357-7281

1993. 7 No. 331

★来年から、例会は第4木曜になるか

OMC例会場、なにわ会館カルチャールームが改装され、来年から土日に限ってキリスト教の結婚式場に充てられる計画が進んでいるとか。そうなると土曜の例会は無理となり、適当な他の部屋も控室になるなどで、結局曜日を変更せざるを得なくなりそう。6月例会直前に開かれた世話役会で討議された結果、金曜の夜は何かと会合や呑み会?が多いので木曜の夜でどうかということになった。結果は例会で図られ大方の賛同を得た。会員諸氏の下承をお願いしたい。いずれにしても来年からの話で、今年中は今のままだ。

★撮影した筈が何も写ってない。撮影会余話

6月例会で有村氏、先日の堺刃物撮影会で写したビデオが一部、信号も記録されていない無映像だったとか。カメラの故障かと、カメラテストをしたら今度はちゃんと撮れていたのメーカーに修理に出すわけにもいかないと、原因が判らず不思議がることしきり。

★細見氏、車で追突されて自宅療養中

村田氏から細見氏が車で信号待ちしていたら後から追突され、ムチ打ち状態になって目下自宅療養中、と例会で報告があった。たいしたことがないことを祈りたい。お大事に。

★6月例会レポート

梅雨の間の束の間の晴れ間、例会日の6月26日はそんな日だったが、来週も雨が続くという…。何とも雨の多い今年の梅雨だ。桐田さんが珍らしく顔を見せられた。昨年5月に出席されて以来だから丁度1年ぶりだ。何でも目が疲れて外出する気になれなかったとか

お互い「とし」ではあるが、気晴らしのためにも例会へ出てきて楽しいひとときを過ごそうではありませんか。

上映作品；「船渡御風景」桐田氏、Su M 6分。大阪天神祭かと思ったら嵐山の三船まつりの記録だったので、三船まつりの船舞台は船渡御とはいわないのではと話題ひとしきり「通天閣見える」江村氏、Si M 7分30秒。通天閣界隈の情景を盛りたくさんに撮られているが、ねらいとまとめ方にひと工夫欲しいとの声も。「鯉のぼりの里」村田氏、Si M 6分。鯉のぼりがたくさん出て圧巻だが、能勢の里をもう少し活かしてほしかった。しかし、まとめ方によってはいい作品になる。「或る元刑事の物語」合原氏、Si M 12分30秒。S49年作、横山さんのクラブ撮影会に同行してつくられたドラマ作品。懐かしい人、今は亡き人など当時をしのぶ話題が出された。「SAFARI」小倉氏、Su T 25分40秒。サバンナの珍しい動物がふんだんに出て、しばし自然界の厳しさ、素晴らしさの情感にひたる。

小倉会長は5回もサバンナを訪ねられたとか。サファリの集大成ともいえる大作であった。

★6月例会出席者；有村、江村、岡本、小倉上総、金子、桐田、合原、関、花岡、辻村、村田、森、増田の各氏。以上14名。

★合同映写会作品のノミネートにご協力を。

★下期会費未納の方、納入をよろしく。

☆7月例会は第4土曜24日 6時20分、なにわ会館。撮影会作品公開審査を行います。一般作品もどうかご持参を。盛夏を涼しい例会場で楽しく過ごそう。多数のご出席を。

★8ミリをやめられないワケ

近頃では‘8ミリ’と言えば「8ミリビデオ」と思うのが常識らしいが、少なくともムカシからシネカメラを愛用してきた者にとっては、いまだに‘8ミリ’は「8ミリ映画」のことであって決してビデオのことではない。が、こと程に8ミリ映画は少数派になってきた。しかし、フィルム代も高くつくが、なかなかやめられないのも事実。一つは、手作りの感覚で作りに上げていく過程がいい。ひと駒ひと駒をエジターで確認しながら接いでいく面倒さがまたいい…。もう一つは、公開映写会のような発表の機会を設けることで作品づくりのはげみと目標になっていることであろう。大映写となるとやはりビデオでは8ミリ映画にかなわない。

ビデオクラブにも顔を出しているが、手軽に‘作品’なるものが出来るから、皆が持ってきて上映本数がやたらと多い、という特徴がある。東京では5分以内というクラブもあるが総じて10分以内という制約を設けているところが多い。私の場合、どうしてもじっくり構えるので10分以内では納まらない。10分以内というとポエム調か軽いスケッチ風のものしか出来ない。だとすると、作品本位に、10分間の垣根を越えて楽しみ、たまには発表会もやるとなると日本新党ではないが新しいビデオクラブをつくる以外には解決しないのかも知れない。やはり当分は8ミリ映画で行くところまで行こうとのOMC方針を見守っていくほかなさそうである。(合原一夫記)

★来年から例会は第3木曜に変更

先月号のニュースに第4木曜とあったが、会員諸氏の希望で月末は避けようということになり、第3木曜となります。よろしく。

★7月レポート

あいにく大阪天神祭宵祭の日、例年なら夏本番で暑い盛りだが、今年はまだ梅雨も明けず、おまけに台風まで近づいてきた。そのせいか今月の出席者は13名にとどまり、やや淋しい例会となった。

本来なら今月は撮影会作品公開審査の日だったが、まだ完成していない人があり、8月に延期された。

珍しく村田さんがお休みなのでワケを聞くとお孫さんが来ておられるとか。お孫さん相手に撮影に夢中の村田さんの姿が目に見え。出席：有村、江村、岩井、上総、金子、小倉桐田、関、辻村、岡本、前田、増田、合原
上映：「水間観音」江村氏、Si M 5分40秒。雰囲気は出ているが、何を訴えようとしているのか判らないとの声も。「通天閣かいわい」江村氏、Si M 6分20秒。先月の「通天閣見える」の改題と手直し。この題なら何を入れてもおかしくない…。「大阪天神祭」合原氏、Su M 21分。S53年作。丁度祭の最中なので持参された。三年がかりで撮影。「海女のいる島」小倉氏、Si T 12分。氏にしては珍しいシングル作品。20年以上前の作品だが鳥羽答志島での海女の生きざまがよく出ている。「白と青」関氏、Su T 10分。アテネパルテノン神殿の白い大理石と青空との対比。

☆8月例会は28日第4土曜18時20分、なにわ会館。新作旧作持参歓迎。多数のご出席を。

★東京アマチュア映像祭を観て

合原一夫

去る9月5日(日曜)新宿安田生命ホールで東京アマチュア映像祭があり、私も大阪から日帰りで見に行った。午前11時より上映が始まり5部構成で夜の9時近くまで上映されるという延々10時間にも及ぶものだ。8ミリ作品の部とビデオの部が交互に行われ、途中青木寿一郎氏と脇田智氏の対談が組まれたり全国から公募したコンクール入賞者の表彰式及び上映があったりして、入場者も数百名にも及ぶ等、大盛会であった。近畿にもかつて映画連盟があったが、東京のそれは映像連盟に衣替えして38団体が結束して交流を深めて益々盛んに活動しておられる。近畿が何故に解散してしまったのか残念であるとともに、育てていこうという盛り上げの気持ちが足りなかったのではないかとの反省とリーダー不在も大きな要因ではなかったかと思う。ビデオクラブも含めて新しい交流の場が欲しいものである。

★ショック・コダックが国内現像中止!

先ほどフジが10月20日付でマグネコーティングの引受をやめると発表して少々気落ちしていたが、今度はコダックが8ミリフィルムの国内現像を同じく10月20日付で中止、以後ハワイ送りにするという。日数も1.5月から2カ月かかるといわれ、料金も高くなるらしい。何でも同録フィルムでフィルム代と現像代で4000円になろうという…。まことに8ミリフィルム派にとって暗黒の世になったものだ。このニュースは東京アマチュア映像祭で

の川上晤会長が開会挨拶の中で「昨4日に明らかになった暗い話」として紹介されたもので一瞬場内がシーンとなったものだ。

今後はシングル8フィルムに絞って続けるか、たとえ2カ月かかっても、高価についてもコダックフィルムでいくのか、それとも、涙をのんで?ビデオに転向するのか、OMCの来期以後の方針と会員諸氏のふんぎりが問われる時が来たように思える。

★撮影会作品コンクールは合原氏が最優秀賞

8月例会で上記作品の公開審査を行なった結果、1位「刃物に息づく町」合原氏 Su T 12分、2位「堺の包丁」金子氏 Su T 14分、3位「堺刃物」江村氏 Si M 9分40秒。拍手

★8月例会レポート

小倉会長、司会の有村氏が共にご旅行で欠席されたため、司会を合原氏が、記録を細見氏が担当。出席：江村、岡本、岩井、上総、合原、辻村、花岡、金子、関、前田、増田、細見、森、村田の各氏、計14名出席。

上映：「花の舞う寺」細見氏、Si M 4分。きれいな作品だが主題に合わないカットが惜しいとの声も。「どやどや」村田氏、Si M 7分。公開映写会用作品、迫力ある画面の連続で圧倒される。苦労して撮られた作品だ。「落葉のころ」細見氏、Si M 7分。これも公開映写会向けだけに細かい点で助言が出された。

「心はいま近江八幡」森氏 Su T 10分。数年前の撮影会作品。懐かしく拝見。「福江島」増田氏 Su 15分。珍しい島の雰囲気伝わる。

☆9月例会は25日第4土曜18時20分なにわ会館。月一回の集まりを大いに楽しくやろう。

★私のスーパー・1014撮り納めの旅

合原一夫

去る9月15～17日、玄光社CFCサロン撮影会に参加してきた。この撮影会はもう10年も続いている全国規模の撮影会である。会員の堀池さんは一昨年の高知撮影会まで毎年参加されていたが、私はその高知大会に次いで2回目であった。青森県はリンゴの一大産地で色づき始めたリンゴ園での撮影、岩木山神社祭礼、津軽三味線、じょっぱり太鼓など、個人ではなかなか撮れない被写体が一杯であった。参加者はバス2台分、ほとんどがビデオカメラで、8ミリフィルム派は数名、うちシングル8は1名、スーパー8のサイレントは2名、あとはスーパー8同録カメラだが、私は10月20日でスーパー8フィルムの国内現像中止、フジのマグネコーティング中止という悲しい現実のもと、スーパー8サイレントカメラによる撮影は、これが最期かもしれないと思い、あえてキャノン1014を持参した。

キャノン1014カメラは私の最も信頼のおける名機であった。ピント、発色、使いやすさなど申し分なく愛すべきカメラであった。今回の東北撮影旅行は、その1014カメラによる私の「撮り納めの旅」であった。幸い天候にも恵まれ、いいカットも撮れた。これで、1014スーパー8カメラも満足して引退してくれることであろう。私はそのカメを我が博物館（書棚）に納めながら、このカメラで生まれた思いでの作品の数々を思い出していた。

愛機よ、長い間ほんとに有り難う。

★10月22日公開映写会動員方よろしく。

今回は関西シネクラブとの合同映画会で、出品作品もこのほど決まり只今プログラム等準備着々進行中である。8ミリだけによる公開映写会がいつまで続けられるか判らないがとにかく成功させなければならない。会員諸氏の動員ご協力を切にお願いしたい。

★堀池さん久方ぶりに例会ご出席

昨年12月ご出席以来、病気ご静養で例会をお休みされていた堀池さんが、ひょっこりお顔を見せられてご挨拶された。この上はぜひともお元気になられて例会も楽しんでいただけたらと願うばかりである。

★9月例会レポート

～上記の通り堀池さんのご挨拶でOMCへGS1200映写機を寄贈したいとの申し出があった。またDS8ダブルランが欲しい方があったらゆずりたいとも。

小倉会長がアラスカでフランス人が9.5ミリのパテベビーを使っていたと証拠に空箱を貰ってこられた。この話題がひとしきり続いた。上映：「水の楽園」村田氏 Si M 4分。浜離宮公園の噴水が主役。「御室の桜」江村氏 Si M 7分。仁和寺の桜の下で楽しむ人々を描く。「狂冥」森氏 Si M 13分。10数年前フジ撮影会時代劇作品。「豊かな海」合原氏 Su M 12分。S55OMC撮影会作品。「WATER'S PATH」有村氏 Su T 5分。公開映写会用の意欲作。ビデオとの合体が話題。「なんじゃろか」関氏 Su T 2分15秒。お色気たっぷりのアニメ。1977年作。今月出席は12名だった。

☆10月例会は公開映写会翌日になりますので休会します。次回11月27日（土）よろしく。

★遂に……、ビデオ併用決断へ

全国的にも数少ない8ミリだけのクラブの名門OMCだがコダックの国内現像中止という強烈なパンチを受けて、8ミリだけにこだわっているのは、例会運営そのものが難しくなってきた。そこで小倉会長の招集で去る10月31日なにわ会館で世話役が集まり、今後の方針が討議された。その結果、OMCの灯は消してはならないとの大方の声と、ビデオ併用に踏み切ることが決断された。併用とはいえ8ミリ、特に新作最優先で、ビデオも「作品性」を重視し、他のビデオクラブとの性格の違いを明確にして運営していこうとの方針が立てられた。新会員入会も無制限というわけにはいかないのルールづくりをして絞っていくことになった。この機会に新しい規約をつくることも検討課題となった。なお、ビデオ機材はOVC（大阪ビデオクラブ）の機材を借用するか、なにわ会館の有料機材を借りることで検討を進めることになった。いずれにしても例会場の部屋が変わる1月例会から実施、会の存続、発展のために会員諸氏のご協力をお願いしたい。

★新世話役決定、ほぼ全員留任、よろしく

上記世話役会で10月からの新年度へ向け、新しい世話役が選任されたが、小倉会長ほかほぼ全員留任となった。

会長兼総務 小倉宝蔵（以下敬称略）

相談役 堀池俊三、横山勇、上総修一郎

会計 増田栄一

企画 関 剛、岡本至弘

広報兼記録 合原一夫、細見正

例会司会 有村博

映写 前田茂夫、岡本至弘、有村博

合同映写会窓口 小倉、合原、有村、前田

★まずは盛会の合同発表会

今回は日経新聞が大きく取り上げてくれたおかげもあってか上々の入りでまずは盛会となり、合同映写会としてはまずはめでたし。

おまけに毎日テレビが小倉会長の自宅で取材したり、当日開会から閉会までぴったりつき合い、翌日の夕方放映するなど話題性も十分であった。消えゆく8ミリ映画ということでニュース性があったのであろう。来年は8ミリだけで発表会が可能かどうか判らないが今のところ再度合同発表会を開く予定だ。

★新年会も関西シネと合同で1月16日夜予定

出席者も多くないので合同で、なにわ会館

★この4年間の記録です。何を考えますか？

年度別	1990	1991	1992	1993
作品数	98	84	71	64
平均出席者	17.0	16.8	15.7	13.1
平均作品数	8.2	7.0	6.5	5.8

上表を見ると例会出席人数、作品数共に下ってきている。来年1月からのビデオ併用で盛り返していきたいものだ。なお前期も村田氏が11回の例会で11本出品。合原氏11本、江村氏10本、金子氏8本、細見氏6本。皆出席増田氏、10回出席有村、合原、関、村田、森、金子氏。

☆11月例会は27日（土）会費納入6000円よろしく。多数ご出席乞う。作品お持ち下さい。

★個人映写会考 合原一夫

去る11月14日朝日生命ホールで行われた上総修一郎個人映画会は、ほぼ場内満員の盛況で映像仲間としてほっとすると共に、まずはめでたしといったところ。上総氏も大仕事をやり遂げた後のほっとした安らぎの感があることと思う。

東京では川上勝悟氏が個人映写会を何回か催されているが、あの安田生命の大ホールをいつも満員にされている。クラブの公開映写会以上の動員力なのである。

個人映写会の成否は一に動員力である。こればかりはお金をつんだからといって解決のつく問題ではない。私がもし個人映写会をやるとしたら、恐らく身内は息子らも来ないだろうし、かみさん位しかない。あとは有難い映像仲間たちに義理にでもお出まし願うほかはない。考えると上総氏の動員力は大きい。

個人映写会での入場者を見ていると、クラブの公開映写会とは違った客層が多いのに気づく。会社関係とそれを通じた交遊関係、地域社会への普段のつきあいからの交友、映像と別の趣味仲間といった、映像仲間以外の人が多いのである。こうなると、日頃の幅広い交際と活動がモノを言う。

勿論、大切なのは本人の人柄であり、或る一定以上の作品レベルが前提になることはいうまでもない。

こう見てくると大抵の人は個人映写会なるものは諦めざるをえないと思うが、複数の人が集まって企画するとか、小さな会場でやるとかすれば、或いは成功するかもしれない。

以上が上総修一郎個人映画会を観て思ったことだが、大げさでなく気軽に仲間どうしを少し広げた程度の映像発表会を開いたらどうかとも思うのだ。勿論、ビデオも併用ということになるのだろうか。今後の課題だ。

★マグネコーティングの処理継続

フジカラーサービスが、一時中止していたマグネコーティングを5年延長して継続処理をする。受付はフジカラーサービス東京事業所に郵送するか、直接持ち込みをする方法だけである。価格は1巻につき210円、16巻未満は最低基本料金として3360円(消費税別)

★1月例会よりビデオ併用が本決まり

時代の波には勝てず、遂にOMCもビデオ併用に踏み切った。テレビはなにわ会館から借用、ビデオ機器をどうするか考慮中。

★例会で年度賞の発表

今年度の年度賞。グランプリ賞「太古の夢」江村氏、会長賞「どやどや」村田氏に決定。撮影会作品優秀賞「刃物に息づく町」合原氏共々、会長よりトロフィが手渡された。拍手

★11月例会上映作品リスト

「信仰に燃える山」金子氏 Si M 9分。「スカイビルの印象」細見氏 Si M 8分。「抜穂祭」村田氏 Si M 8分。「秋」江村氏 Si M 3分半。

「時の流れに」有村氏 Su T 3分。「吉野紙のふるさと・国栖」岡本氏 Su M 16分。出席＝関、小倉、横山、上総、増田、有村、細見、村田、前田、岡本、江村、金子、森の各氏。

☆12月例会は1週間早く、第3土曜18日、お間違い無きように。本年最後の師走例会を楽しく盛り上げよう。新作旧作歓迎乞持参。